



The 53rd Annual Meeting of the Japanese Association for Laboratory Animal Science

## 第53回 日本実験動物学会総会

先端医療の発展と実験動物 —実験動物福祉に即した適正な動物実験—

### 会長挨拶

このたび第53回日本実験動物学会総会を2006年5月11日—13日に神戸国際会議場で開催することになりました。ここに本大会について皆様にご案内できることを組織委員一同大変嬉しく思っています。

人類の福祉や科学の発展に向けたこれまでの多くの研究の中で、動物実験が果たしてきた役割が極めて大きいことは言うまでもありませんが、新たな研究技術が開発されている現在でも、動物を実験に使用しなければ解決できない問題はいまだに山積されています。そこで、本大会では「先端医療の発展と実験動物—実験動物福祉に即した適正な動物実験」をテーマとして掲げ、動物実験の成果と研究の最先端における実験動物の役割、ならびに適正に動物実験を行うための条件等を中心として動物実験の今後の課題について広く検討してみたいと思っています。このようなテーマの下に大会を開催するに当たり、医療産業都市構想として先端医療研究の推進を掲げている神戸市は最適の場所と考えています。

本大会では、会員間の十分なディスカッションを確保するために、特別講演や教育講演は行わず、シンポジウムと会員の発表を中心に構成することを予定しています。具体的には、医学研究の最前線にあり、今後動物実験を用いることで大きな発展が期待される「再生医療」、および動物実験を適正に実施するために必要な「動物実験計画書の審査」について公開シンポジウムを開催し、学会員のみならず広く市民の皆様とともに考えたいと思います。また、生活習慣病である「糖尿病」と「高脂血症/動脈硬化」、今後必要性が増大する「ブタ」を用いた研究、宇宙環境等への適応や高気圧酸素療法に関連した「気圧」についての研究、適正な動物実験を実施するために重要な「麻酔」と「労働安全衛生」、さらに、社会に正しく動物実験を理解していただくための「海外の取り組み」などについてのシンポジウムを企画しています。また、研究に使用する動物資源としてのバイオリソースについてのパネル展示も予定しています。

一般演題については、口頭発表とポスター発表を予定していますが、学会は若手研究者にとっては発表の研修の場としても重要であるとの認識に立って、ポスター発表であっても座長の司会の下に討論をしていただく予定です。

風薫る5月に百万ドルの夜景と異人館で有名な神戸にお集まりいただいて、有意義で楽しいひと時をお過ごしいただきたいと組織委員一同準備を進めています。皆様にお会いできることを楽しみにしています。

平成17年6月吉日

第53回日本実験動物学会総会

大会長 倉 林 謙

## 開催概要

1. テーマ 「先端医療の発展と実験動物 —実験動物福祉に即した適正な動物実験—
2. 会期 平成18年5月11日(木)～13日(土)
3. 会場 神戸国際会議場 (神戸市中央区港島中町)  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL : 078-302-5200 / FAX : 078-302-6485  
URL : <http://www.kcva.or.jp/kcc/icck/>
4. 大会役員
 

大会長	倉林 譲	(岡山大学自然生命科学研究支援センター)
副大会長	塩見 雅志	(神戸大学医学部附属動物実験施設)
織委員長	国枝 哲夫	(岡山大学大学院自然科学研究科)
実行委員長	佐藤 勝紀	(岡山大学大学院自然科学研究科)
事務局長	宮下 信泉	(香川大学総合生命科学実験センター)
プログラム委員長	松本 耕三	(徳島大学医学部附属動物実験施設)
常任組織委員	内藤 一郎	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
	干場 純治	(岡山大学自然生命科学研究支援センター)
5. 大会事務局 (株)オフィステイクワン内  
担当：山下美紀代 / 五味 建治  
〒461-0004 名古屋市東区葵2-5-6  
TEL : 052-930-6145 / FAX : 052-930-6146  
E-mail : [jalas53@cs-oto.com](mailto:jalas53@cs-oto.com)
6. 大会参加費
 

事前登録：	会員	10,000円、	非会員	12,000円、	学生	4,000円
当日登録：	会員	12,000円、	非会員	14,000円、	学生	6,000円
1日のみの参加：	会員	6,000円、	非会員	7,000円、	学生	2,000円

 事前登録締切日：平成18年3月20日(月)迄
7. 懇親会
 

5月12日(金) 午後8時

神戸港ハーバーランド発のクルージング船上にて行います

事前申込：7,000円

当日申込：9,000円

  - ・雨天でも決行いたします。
  - ・参加者は400名限定とさせていただきます。

※同伴者のかたの事前申込はできません。当日申込(9,000円)にて参加いただけます。
8. ランチョンセミナー・ホスピタリティールーム
 

希望される方は、学会事務局までご連絡ください。
9. 器材展示
 

広く募集しております。ご希望の方は日本実験動物器材協議会事務局(日本クリア(株)内TEL/FAX共通：03-3792-6973)までご連絡ください。

## プログラム

### 【一般演題】

口頭発表およびポスター発表を予定しています。ふるってご応募ください。

なお、演題登録は本ホームページからのみの受付とさせていただきます。

### 【公開シンポジウム】

1. 実験計画書の作成と動物実験委員会による審査  
オーガナイザー： 鍵山 直子
2. 再生医学の現状と今後の展望  
オーガナイザー： 鳥居 隆三・西川 伸一

### 【シンポジウム】

1. 実験動物の麻酔—ここまで来た麻酔  
オーガナイザー： 倉林 譲
2. 糖尿病研究における動物モデル —これまでの役割と今後の発展性—  
オーガナイザー： 横井 伯英
3. 実験動物としてのブタの重要性、今後の展開  
オーガナイザー： 浅田 孝
4. 疾患モデルにおける単一遺伝子の多面作用について考える  
(学術集会委員会、日本疾患モデル学会共催)  
オーガナイザー： 国枝 哲夫
5. 異常環境圧力の適応  
オーガナイザー： 八木 博司
6. 研究の擁護、その欧米での実態と我が国  
オーガナイザー： 黒澤 努
7. 動物実験と労働安全衛生  
(日本実験動物学会・日本実験動物技術者協会・日本実験動物環境研究会 共催)  
オーガナイザー： 佐加良 英治・大和田 一雄
8. 脂質代謝異常と動脈硬化の病態モデル、その病態と医学研究への応用  
オーガナイザー： 塩見 雅志

### 【パネル展示】

実験動物バイオリソースの現状と今後の課題

オーガナイザー： 芹川 忠夫

### 【ワークショップ】

詳細は、後日掲載いたします。

### 【ランチョンセミナー】

会期中にランチョンセミナーを希望される方は、学会事務局までご連絡ください。